

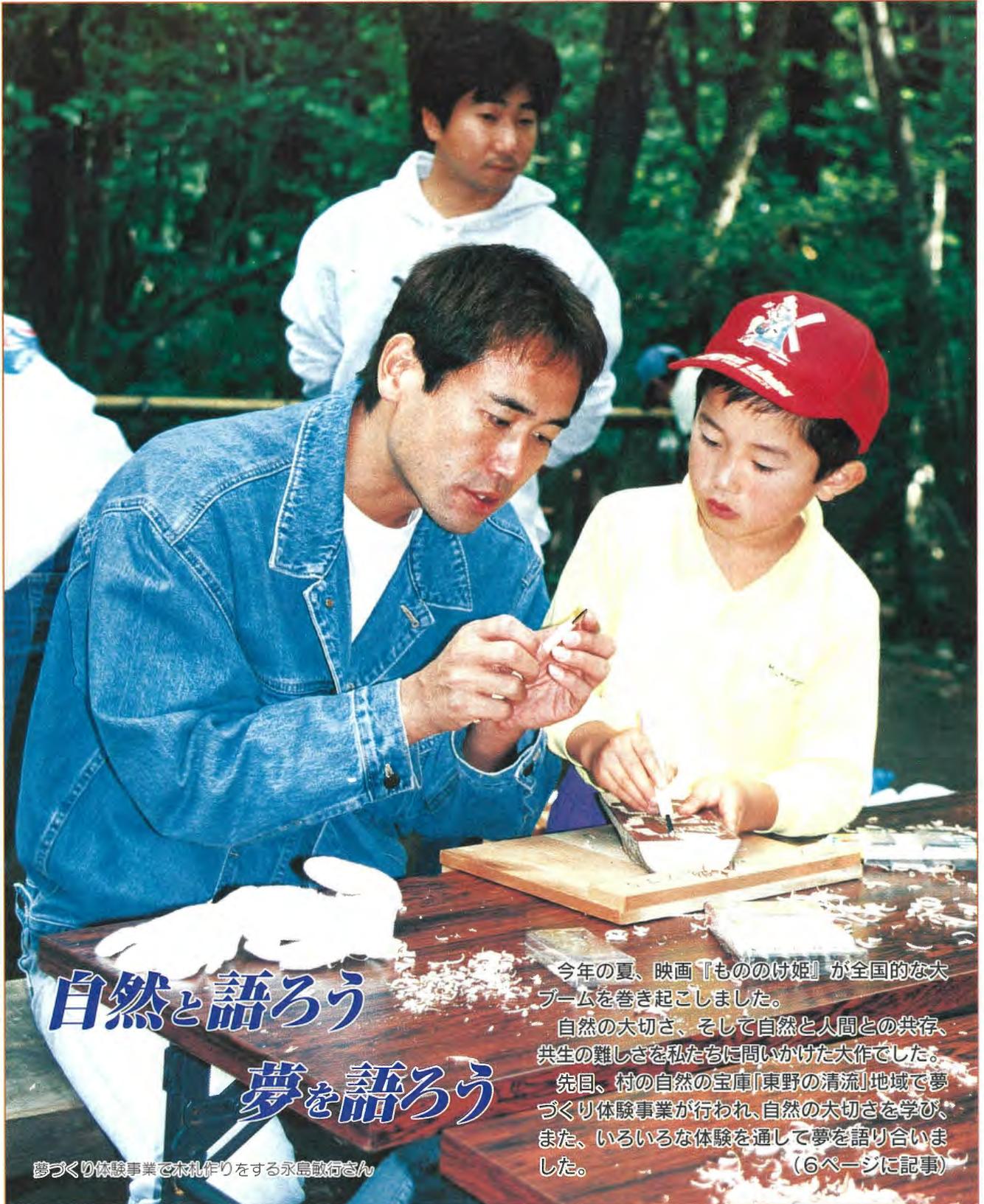
たまかわ

1997

10

No.374

空と緑`新、呼吸する——広報TAMAKAWA



自然と語ろう

夢を語ろう

夢づくり体験事業で木札作りをする永島敏行さん

今年の夏、映画『もののけ姫』が全国的な大ブームを巻き起こしました。

自然の大切さ、そして自然と人間との共存、共生の難しさを私たちに問いかけた大作でした。

先国、村の自然の宝庫「東野の清流」地域で夢づくり体験事業が行われ、自然の大切さを学び、また、いろいろな体験を通して夢を語り合いました。(6ページに記事)

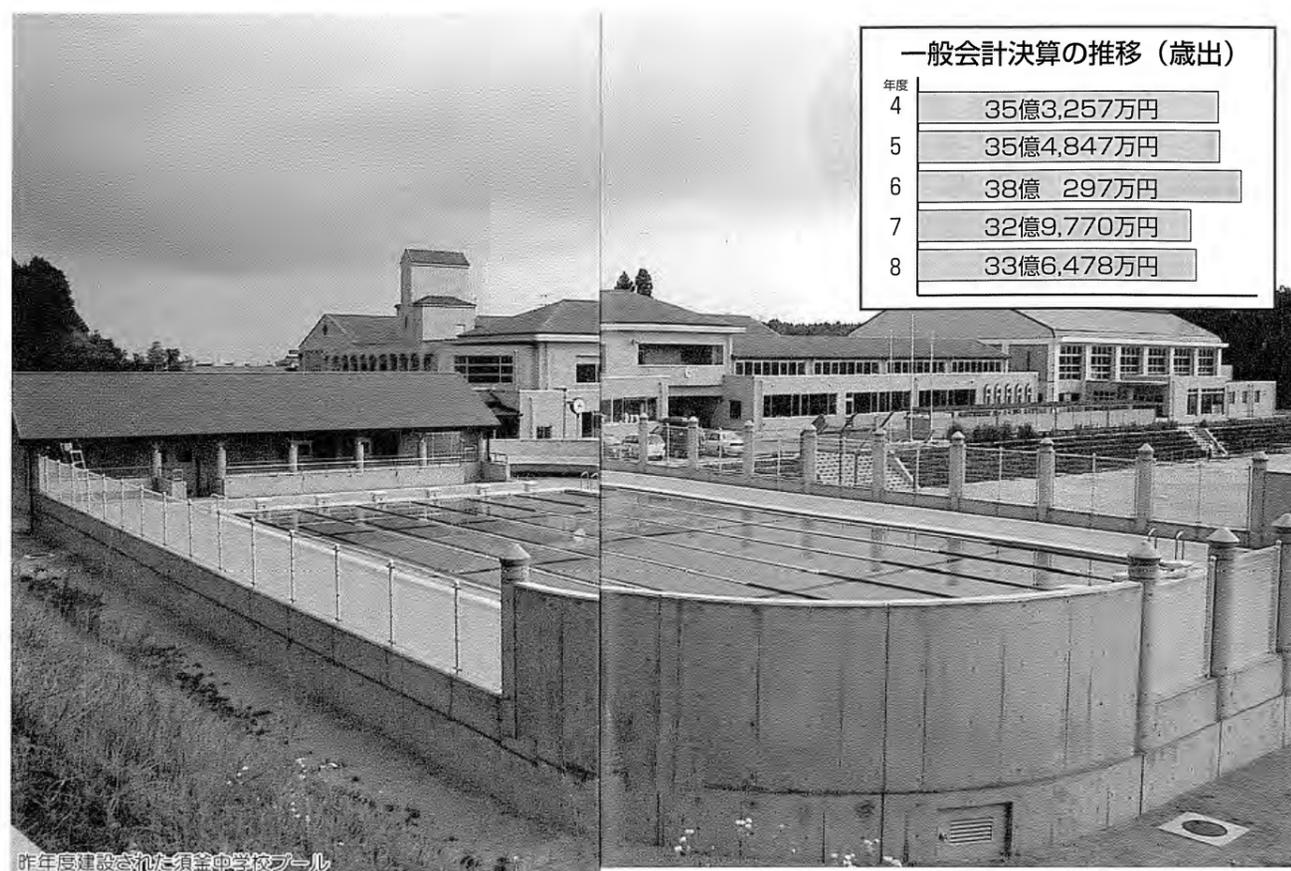
平成8年度 決算

一般会計決算報告

平成8年度の一般会計、特別会計、事業会計の決算が、9月定例議会で承認されました。
 そのうち一般会計の決算額は、歳入総額34億8,004万円、歳出総額33億6,478万円となりました。平成7年度の決算額と比較すると歳入が2.6%、歳出は2%の増加となりました。私たちが納めた税金の使われかたをしてみましょう。

一般会計決算の推移（歳出）

年度	
4	35億3,257万円
5	35億4,847万円
6	38億 297万円
7	32億9,770万円
8	33億6,478万円



特別会計

	歳入	歳出	繰越
国民健康保険	5億 362万円	5億 188万円	175万円
老人保険	5億1,699万円	5億1,699万円	0万円
簡易給水施設	1,950万円	1,889万円	61万円
農業集落排水事業	2億7,971万円	2億6,353万円	1,618万円
計	13億1,982万円	13億 129万円	1,854万円

上水道事業会計（税抜き）

収益的		資 本 的	
取 入	営業収益 1億 39万円 営業外収益 6,175万円	取 入	補償金 342万円 一般会計補助金 4,000万円
支 出	営業費用 1億2,630万円 営業外費用 3,128万円 特別損失 2万円	支 出	建設改良費 6,809万円 企業債償還金 659万円
当年度純利益 454万円			

歳入

平成8年度一般会計の歳入決算額は、34億8,004万円です。平成7年度に比べ、0.65%の増加となっています。増加の主な要因としては、村債の1億4,340万円の増と村税、地方交付税の若干の増加があげられます。また、国庫支出金は1億4,940万円の減となっております。

7割は依存財源

村の収入を大きく分けると村独自で確保できる村税や使用料・手数料などの「自主財源」と国や県から交付される地方交付税、国・県支出金などの「依存財源」になります。歳入決算額を自主財源と依存財源に分けると、自主財源は全体の30パーセントで、77.8%は依存財源です。

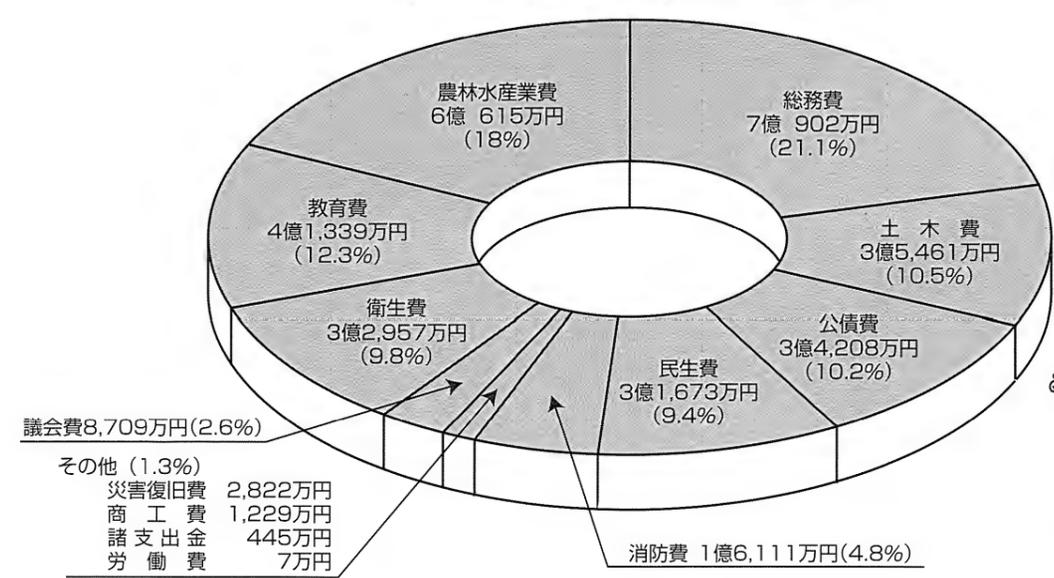
歳出

歳出の決算総額は、33億6,478万円です。平成7年度に比べ、6.7%の増加となりました。総務費が対前年比約1億5,000万円の伸びがあり、これは赤坂団地、県中水道事業等の事業負担金として使われました。また、平成8年度の歳入歳出差引の結果、1億1,526万円の黒字決算となりました。

村民一人当たり 約44万円使う

平成9年3月31日現在の村の人口は7,643人で、一般会計の歳出総額33億6,478万円を割り算してみると、住民一人当たり44万2,433円が使われたこととなります。一方、村民税を人口で割った村民一人当たり納めた税金は8万3,244円となっています。

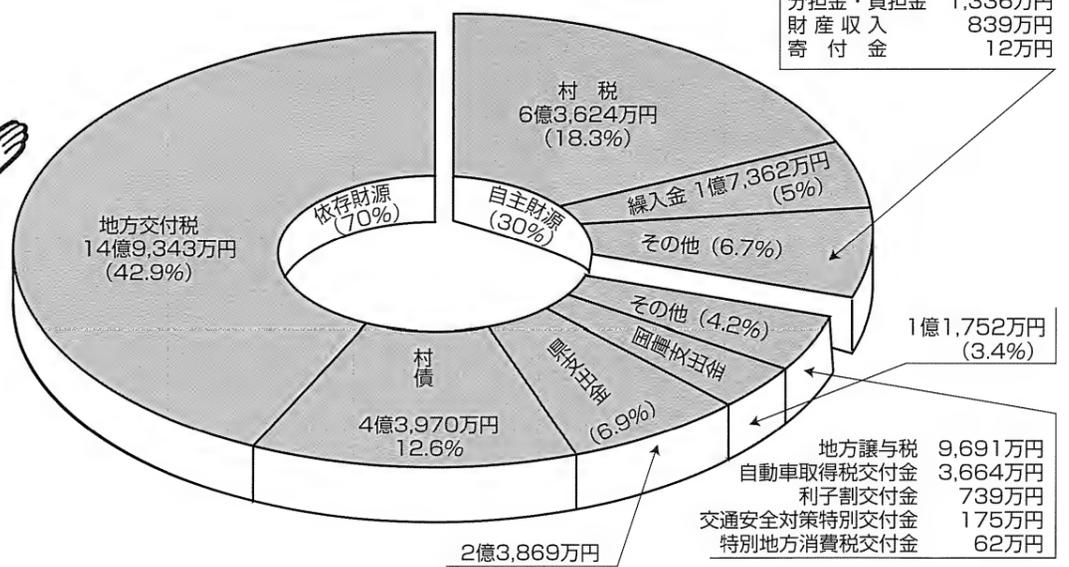
一般会計歳出（支出）総額 33億6,478万円



村民1人当たり 440,243円

一般会計歳入（収入）総額 34億8,004万円

() 内は構成比

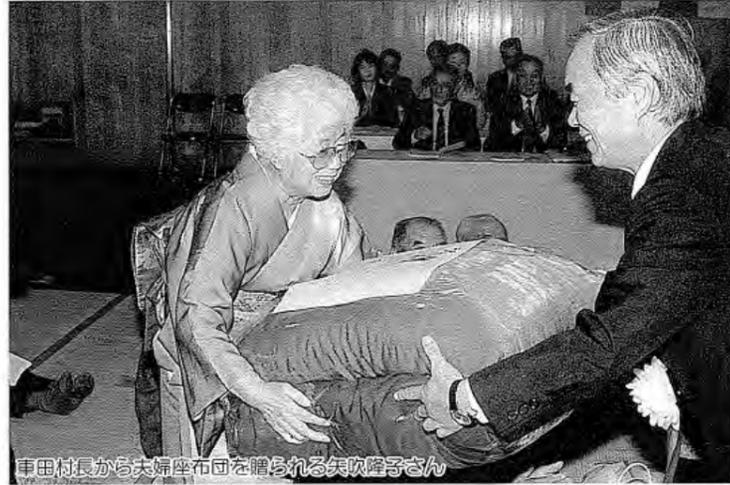


村民1人当たり 455,324円

長寿万歳、敬老の日

75才以上561名の長寿を祝う

平成9年度 敬老会



平成9年度の村敬老会は、9月15日(月)敬老の日に村民体育館で開催されました。今年、招待された75歳以上の長寿者の方々は全部で561名でした。村内各所から村でチャーターしたバスでの出迎えを受けた招待者は、敬老会に臨んだあと村内の各婦人会支部の皆さんによるアトラクションの踊りを楽しんだり、日ごろ交流のできない友人、知人との親交を深めました。

特別記念品を贈呈

敬老会は午前10時に開会し車田村長から式辞が述べられました。続いて今年80歳になられた28名を代表して鈴木徳一さん(北須釜)に村長から敬老年金証書が交付されました。

次に夫婦で80歳になられた矢吹政治郎・隆子さんご夫妻(川辺)に車田村長から特別記念品として夫婦座布団が贈られました。また、米寿者(88歳)17名にもそれぞれ車田村長から米寿記念品として座布団が贈られました。

大野雅人県議会議員と高林浅男村議会議長からそれぞれ祝辞のあと高齢者を代表して小林清人さん(竜崎)が「長寿を祝福して頂きましてありがとうございます。今後とも人生経験を活かして社会に尽くして参りたいと思います」と謝辞が述べられ閉会となりました。



婦人会のアトラクションを楽しむ

招待者お楽しみのアトラクションは、婦人会会員の佐藤恵美子さん(森生)と関根ミエ子さん(北須釜)の司会で村内の婦人会各支部の皆さんによる踊りが上演されました。それぞれ婦人会支部の出し物に大きな声援が送られ、また、招待者の地元婦人会が出演するとおひねりもあがりしてしまいました。



日赤と福島民報社から表彰

アトラクションが始まる前の時間を利用して日本赤十字社の介護者顕彰式が行われました。

日本赤十字社福島県本部では、長い間の介護に携われた方を対象に感謝状を贈呈しており、今回、小山田光子さん(中)が受賞しました。日本赤十字社福島県支部玉川分会長の車田村長から感謝状の伝達が行われました。

また、福島民報社では今年度、本村で金婚夫婦となった36組に表彰及び記念品を授与しました。



長寿データ

◆最高齢者 大越サタさん (98歳・南須釜)

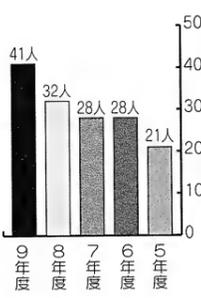
◆75歳以上80歳未満 288名

◆80歳以上 273名

◆75歳以上の行政区別人口

川 辺	95名
小 高	93名
蒜 生	34名
中 高	36名
岩 法	31名
竜 崎	66名
南 須	88名
北 須	61名
山 吉	25名
山 小	19名
四 辻	13名
新 田	13名

◆90歳以上の推移(過去5年間)



◆米寿を迎えた方 17名

◆今年度金婚夫婦 36組

90才以上の長寿者41名

村長が記念品を訪問贈呈

95才以上は5名

玉川村の90歳以上のお年寄りは9月1日現在で41名です。皆さんの長寿をお祝いして9月1日から3日までに村長がそれぞれのお宅に伺って記念品を贈りました。

今年は、昨年より9名 増えました。皆さんお元気で過ごされています。ここでは、特に95歳以上の5名の方々をご紹介します。



車田力ネさん(97才・小高)



大越サタさん(98才・南須釜)



高橋兼嘉さん(95才・川辺)



吉田綱義さん(95才・川辺)



車田ワキさん(96才・小高)

夢を求めて

東野の森で学ぶ

夢づくり体験事業に老若男女が集う

9月20日(土)本村の東野の清流(四辻新田)を舞台に村と実行委員会主催の「夢づくり体験事業」が行われました。当日は、それぞれの夢を抱いた子供からお年寄りまでの村民約110名が参加しました。また、本村のヘルスアドバイザーである石川雄一先生と特別ゲストとして俳優の永島敏行さんも参加してトークショーや各種体験を行い楽しい一日を過ごしました。



「元気茶屋」で休憩する参加者

秋の道を楽しむ

四辻新田区民広場で開会式が行われた後、東野の清流地域までの約4kmの道のりを参加者全員で歩きました。台風20号が通過して久々の太陽の光と緑の山々を背景にした風光明媚な山道はとても清々しく参加者は自然を大いに満喫していました。

道の途中、元気クラブによる「元気茶屋」が開かれ参加者はウーロン茶などを飲みながら休憩をしました。また、



永島さんと石川先生のトークショー

「四辻さるなし組合」では、果樹畑でさるなしの生食をサービスとしてのPRを行ないました。東野の清流に到着するとボランティアグループ「よつばの会」の皆さんが作ったカラーライスが参加者全員にご馳走されました。

『夢を持つこと』 必要だね

東野の森の特設会場では、石川雄一先生と永島敏行さんのトークショーが行われました。永島さんは、自然の大切さや農作業体験のこと、夢を

持つことの必要性などをユーモアを交えて話されました。芸能人といった派手さのない永島さんの素朴な人柄と周りの森の風景がマッチして会場の参加者は強い感動を受けていました。

各種体験 に挑戦

トークショーの後は、各種体験コーナーが開かれました。「木札作り体験」では、ホウの板に「まつ」「ひのき」など周辺にある木の名前を彫刻刀で彫り、それぞれの木の根本に立てました。また、地元産品のさるなしの実を使つてのジャム作りなども行われました。体験コーナーは、そのほかに「わらじ作り体験」「ハンゴウでご飯を炊く体験」「パン作り体験」などが行われました。どの体験もガスや電気や水道を使わないで豊かな自然を利用したものでした。参加者らは、どれも初めてのことで「とても貴重な体験ができました。参加してとても良かった」との声が聞かれました。



わらじ作りに挑戦する参加者たち。小林正與さん(竜崎)の指導で行われました



真弓五三男さん(藤生)の指導で行われたパンづくり。芳しい香りが森の中をつつみました

第19回 少年の主張福島県大会 小針あゆみさん(泉中3年) 優秀賞



優秀賞を受賞する小針あゆみさん(泉中)



須釜菜美子さん(須中)の発表

母校の体育館での栄誉

第19回少年の主張福島県大会は、9月19日(金)午後1時から本村の泉中学校体育館を会場に開かれました。同大会は、県青少年育成県民会議の主催、福島県や玉川村などの共催で行われ、県内の中学生二万八千六十二人から応募があったものから事前審査会を経た16名が出場しました。本村からは、小針あゆみさん(泉中3年)と須釜菜美子さん(須釜中2年)の2名が出場しました。

新妻威男県青少年育成村民会議副会長、車田村長からそれぞれあいさつのおと、出場者16名がそれぞれ学校や家庭、地域、身の周りのことと感じたことをひとり5分以内にまとめて発表しました。本村代表の須釜菜美子さん(須釜中2年)は4番目に「九十じいちゃんのいる家族」と題して発表。小針あゆみさん(泉中3年)は、11番目に登場して「偏見のない、素直な目を」と題して、障害者へのふれあいと戸惑い、そして接して行くなかで心の交流が生まれる様子を発表して見事第2位に当たる優秀賞を受賞しました。須釜菜美子さんは優良賞を受賞しました。

青少年に豊かな心を 今年も東京精工から 図書券が贈呈

9月24日に東京精工株式会社(秦 秀樹社長)から図書券10万円分が村に寄附されました。同社の皆川業務部次長が村長室を訪れて「青少年に豊かな心を育むために活用してください」と車田村長に贈られました。

同社では、平成2年の社創立20周年記念の際に村内の小中学校に「東京精工文庫」を設立しました。それ以来、同社では毎年会社の創立記念日に図書券の寄附を村にしています。

村では、教育委員会を通じて各小中学校に配り図書券の充実に役立てることにしました。



皆川業務部次長(右)から図書券を贈られる車田村長(中央)



福島空港資料館のようす

泉中学校に 空港資料館を開館

泉中学校(村上進校長：生徒数220名)では9月19日に福島空港資料館をオープンしました。同中学校では、平成4年の学校祭に空港に関する研究を始めてから毎年学校祭で発表してきました。それらの資料を一堂に集めて常時展示する案が教師や父母から持ち上がり、県や航空会社からの協力を得ながらこのたびの開館となりました。開館に先立っての式典は、関係者と全校生徒が出席して行われました。なお、資料館は一般公開もされており学校側では「地域住民の方々や他校の生徒にもぜひ見てほしい」と話していました。



暴力団追放

9/30

第2回暴力団根絶石川地方大会

暴力団を社会から根絶するために石川地方が一致団結する第2回暴力団根絶石川地方大会が本村の村民体育館において石川地方5町村の関係団体から約350名が参加して開かれました。

大会は、石川地方暴力団根絶推進協議会と石川警察署の主催で行われ、安島石川警察署長から石川管内の情勢が説明されたあと、「暴力のない、安全で住みよい石川地方」の実現に邁進することをもち込んだ大会宣言が高林浅男議長から読み上げられました。また、特別講演として県警本部暴力団対策室長の鈴木利美氏が記念講演を行いました。



引渡式でおあいさつする車田村長

最新式消防ポンプ車

9/30

川辺分団と竜崎分団へ配備

消防ポンプ車の引渡式が各関係者が出席して役場駐車場で行われました。式では、消防ポンプ車一式の引渡書が車田村長から佐久間消防団長に交付され、直ちに佐久間団長から須藤昭分団長(川辺分団)と車田武実分団長(竜崎分団)に渡されました。引渡後、車田村長と高林議長からあいさつが述べられました。また、最新式消防ポンプ車を前に佐久間団長は、各分団員に「最大限に活用できるように手入れを怠らず、そして火事を出さないよう予防消防に今後とも力を注いでほしい」と話していました。

地域防犯ボランティア 玉川地安会が巡回

9/18

「玉川村の地域の安全を守る会」(略称：玉川地安会)では、午後7時から8時まで泉郷駅や国道沿線のコンビニエンスストアやスーパーマーケットなどをパトロールしました。

で、青少年犯罪の防止や予防を目的として巡回指導を行うことを任務としています。毎月1〜2回、夕暮れ時の巡回を予定しており今回が4回目の出勤となりました。なお、メンバーは次のとおりです。会長 大竹勝義(岩法寺) 吉田義之(川辺) 飯村正明(岩法寺) 佐久間統広(中) 小林勝広(竜崎) 溝井浩一(小高) 曲山文彦(蒜生)



コンビニエンスストアを巡回するメンバー

いい汗かきました

9/29

石川地方身障者スポーツ大会

第8回石川地方身体障害者スポーツ大会は、玉川村民グラウンドで開かれました。身体障害者福祉会石川支部の主催で行われた同大会には石川地方の5町村から約180名が参加しました。

競技は、玉入れ競争など団体競技6種目と短距離走などの個人競技4種目が行われました。団体競技の結果、石川分会が優勝し玉川分会は準優勝に輝きました。



宝ひろいに出場する参加者



プラカードを贈った佐藤ライオンズクラブ会長(右端)

交通安全プラカードを贈呈

9/18

玉川ライオンズCから安全協会へ

玉川ライオンズクラブ(佐藤豊勝会長)では、石川地区交通安全協会玉川分会(車田悦夫会長)に交通安全プラカードを寄贈しました。

贈呈式は、役場駐車場で行われ佐藤会長から安全協会の小原良雄副会長に贈られました。小原副会長から「交通安全活動への協力を深く感謝申し上げます。今後は交通安全啓蒙にプラカードを活用させていただきます」と御礼のことが述べられました。

'97 空の日記念行事

空港で遊ぶ

各種イベントで楽しむ

9/21



福島空港では恒例の「空の日記念行事」が行われました。当日はあいにくの悪天候になってしまいましたが、中日本エアラインによる遊覧飛行が中止となりました。が、エアロビクスショーやウルトラマンショーが空港1階ロビーで行われ、大勢の観客で賑わっていました。また、屋外の地元産品の展示・即売コーナーには、村物産振興会が出品してふるさと産品などをPR販売しました。



「空の目」の開会式でのテープカット

トピックス IN たまかわ

みなさんからの話題をおまちしています。 役場総務課広報広聴係まで



須釜小学校四辻分校の鼓笛隊パレード

交通安全を願う 鼓笛パレード

9/22

秋の交通安全運動期間中の交通安全啓蒙活動として須釜小学校四辻分校では、全校生徒19名による鼓笛隊パレードが行われました。パレードは、塩田商店前から諏訪屋旅館までの県道を往復して行われました。児童たちの演奏は、四辻新田の集落に大きくこだまして交通安全を強くPRしました。また、須釜小学校でも同日に、川辺小学校は24日に鼓笛隊パレードが行われました。玉川第一小学校は雨のため中止となりました。



南須釜の念仏踊りの上演の様子

夢コロンブス18 ふるさと自慢祭が開催

9/28

福島県中地域18市町村自慢の産品や芸能を一堂に集めたふるさと自慢祭が須賀川アリーナ(須賀川市)で開催されました。本村からもさるなしの生食の販売などが行われ好評でした。また、芸能では「南須釜の念仏踊り」が上演され、色鮮やかな衣装と華麗なる舞に観客から大きな拍手が送られました。

スポーツの秋

村民体育祭に集う

第37回村民体育祭は秋晴れの好天の下、10月5日(日)に玉川村民グラウンドで行われました。

午前9時、開始の号砲を合図に川辺小学校児童の鼓笛隊を先頭にして、各行政区ごとに入場行進を行いました。

開会式では、車田大会長(村長)からあいさつ、大野県議会議員、高林村議会議長から祝辞がありました。また、今年の「ふくしま駅伝」の選手紹介も行われ村民の皆さんからの激励の拍手が送られました。

小学生の児童からお年寄りまでの競技24種目が行われ、日頃の運動不足の解消と村民相互の親睦を深めた楽しい一日となりました。

各行政区対抗戦は、南須釜が優勝を飾りました。区対抗戦の上位3チームは次のとおりでした。

- 優勝 南須釜区
- 準優勝 北須釜区
- 第3位 小高区



区対抗リレー(女子)

就学前児童もいっしょうけんめい

中体連石川支部新人大会 剣道(泉中)団体優勝

中体連石川新人体育大会は、10月1日に郡内10会場で行われました。競技の結果、泉中学校が剣道団体でみごと優勝を飾りました。また、剣道個人でも小針豪君(泉中2年)、柔道個人で車田晋君(泉中2年)が優勝しました。

本村関係の上位入賞は次のとおりでした。

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| [剣道] | [卓球] |
| ◆男子 | ◆男子 |
| ◎団体優勝 泉中学校 | ◎団体2位 須釜中学校 |
| ◎団体3位 須釜中学校 | ◎個人ダブルス2位 張本伸彦・矢吹淳ペア(泉中) |
| ◎個人優勝 小針 豪(泉中) | ◎個人シングルス3位 瀬谷清孝(須釜中) |
| ◎個人2位 永林正英(泉中) | |
| [柔道] | ◆女子 |
| ◆男子 | ◎団体2位 須釜中学校 |
| ◎48kg級優勝 車田晋(泉中) | ◎個人ダブルス2位 我妻久美・八代英子ペア(須釜中) |
| ◎団体3位 泉中学校 | ◎団体3位 泉中学校 |
| ◎65kg級3位 大竹与志孝(泉中) | [野球] |
| ◆女子 | ◎3位 泉中学校 |
| ◎56kg級2位 溝井さと美(泉中) | 【ソフトボール】 |
| ◎団体3位 泉中学校 | ◎3位 泉中学校 |



車田 晋君(泉中) 剣道男子団体が優勝した泉中学校のメンバー

第26回玉川村少年剣道大会 玉川少年剣友会Aが準優勝

第26回玉川村少年剣道大会は、9月14日(日)玉川勤労者体育センターで行われました。

同大会は、村と玉川村剣友会、玉川村青少年育成村民会議が主催して県内から小学生の部に15チーム58名、中学生男子の部に13チーム55名、中学生女子の部に10チーム32名が参加して開かれました。

車田次夫大会長があいさつのは、あと、潮地石川剣道連盟会長、安島石川警察署長、佐藤玉川ライオンズクラブ会長から祝辞がありました。

試合は、団体戦と個人戦に分かれてそれぞれトーナメント戦で行われました。競技の結果、小学生の団体の部で玉川少年剣友会Aチームが優勝



準優勝した玉川少年剣友会Aのメンバー

地域づくり団体を支援

県では、各地域の特性を生かした豊かで魅力ある地域づくりを進めるため、平成6年度から地域振興事業調整費(うつくしま夢づくり助成金)の制度を設けて地域づくり団体等の活動を支援しています。

補助内容は次のとおりです。

- 1 補助対象
(1)ソフト事業：広域的な波及効果の大きい人材育成、地域間交流、広報・PR、地域課題に対する調査研究(補助率1/2以内、総事業費50万円以上)
- (2)ハード事業：生活環境の整備及び地域産業、観光、文化、スポーツ・レクリエーション等の振興に必要な施設及び設備の整備(補助率1/2以内、総事業費100万円以上)
- 2 平成10年度事業の応募期間
第1回目 平成9年11月頃を予定(12月にヒアリング実施予定)
- 3 お問い合わせ先
福島県中地方振興局企画振興部地域振興課
☎〇二四九―三五一―二一八
玉川村企画財政課企画係
☎五七―四六二九

民事調停の相談(無料)

土地、建物、金銭の貸し借り、交通事故の損害賠償などの問題や、離婚、離縁、親子関係、扶養、相続とかの問題で、お困りの方はございませんか。こういう日常生活上のいろいろの争いごとを円満に解決するために裁判所の調停という制度があります。

では、調停を申立てるにはどうしたらよいか、調停はどういうふうに行われるか、そしてその結果はどうなるかということについて、実際に調停にたずさわっている調停委員が、ご相談に応じますから、どうぞご遠慮なくお越し下さい。

- ◆とき 平成9年11月6日、7日
午前9時～午後4時
- ◆ところ 石川町中央公民館
- ◆主催 棚倉調停協会
福島調停協会連合会

いろいろのもめごとはまず調停へ

テクノクリエーションフェア

(財)郡山地域テクノポリス推進機構では、地域の情報化を推進することにより、創造的社会的形成を促すことを目的として、産業界の皆様や広くテクノポリス圏域の住民の皆様を対象に「テクノクリエーションフェア」を開催いたします。

- ◆開催期間 平成9年11月21日(金)、22日(土)(21日は午前10:00～午後5時 22日は午前10:00～午後4時) 須賀川アリーナ(須賀川インターチェンジ向かい)
- ◆会場
- ◆入場料 無料
- ◆展示内容 製造業や情報関連産業、学校等の製品・技術、インターネット体験コーナー、パソコン研修コーナー等

ふるさと就職してみませんか

「ふるさと福島Fターンフェア」は次により開催されます。

- ◎日時 平成9年11月29日(土) 10時～16時
- ◎場所 中野サンプラザ8階研修室2

大卒など合同就職面接会の開催

来年3月に大学・短大・専修学校等を卒業予定で県内企業に就職を希望される学生の方を対象に面接を開催いたします。履歴書を持参のうえ会場へお越しください。

- ◎日時 平成9年11月4日(火) 13時～16時
- ◎場所 ホテルはまつ(郡山市)

個人事業税

納期のお知らせ

個人事業税とは、個人で事業を行っている方に課税される税金です。

個人事業税は、第1期分が8月末日、第2期分が11月末日と通常2期に納期限を定めておりますが、今年度の第2期分の納期限は、11月末日が休日のため12月1日(月)となります。

納税は、県中地方振興局県税部から送付される納付書により、最寄りの金融機関から納期限までに納めてください。

- ◆問い合わせ先 福島県中地方振興局県税部 郡山市麓山1丁目1番1号 ☎0249―3511251(課税内容) ☎351241(口座振替)

秋期全国火災予防運動

11月9日(火)～15日(土)

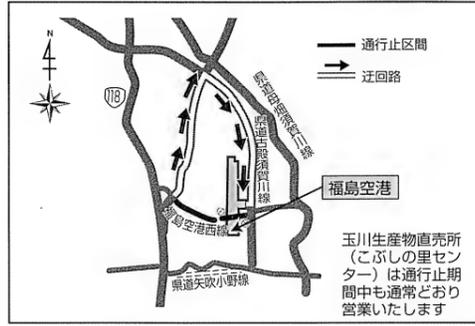
『つけた火は ちゃんと消すまで あなたの火』



～泉保育所のおみこしより～

空港拡張工事に伴う通行止めのお知らせ

福島空港では現在、滑走路長二千五百メートル工事の施行中です。この度、福島空港西線の地下道延長工事の施行に伴い福島空港地下道が左記の期間、全面通行止めとなります。福島空港を利用される方は、迂回路として県道玉川・田村線・古殿・須賀川線をご利用ください。大変ご迷惑をおかけしますが、ご協力の程よろしく願います。



通行止区間
県道福島空港西線・福島空港地下道

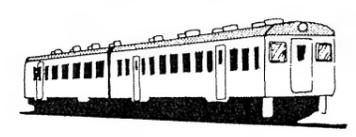
通行止期間
平成9年10月20日(月)午前10時から平成10年3月31日(火)午後3時まで

連絡先：福島空港建設事務所
建設第一係 ☎0248-7313492

募集!!
第3回玉川村民号

快適なお座敷列車「漫遊号」で行く鹿島神宮・潮来方面への旅はいかがですか。村民の皆さんお誘い合わせのうえ参加してください。

- ◆期 日 平成9年11月15日(土)～16日(日)
- ◆行 先 茨城県鹿嶋市方面
- ◆費 用 36,000円
- ◆募集人員 90名
- ◆申 込 先 各行政区長



快適な暮らしにSマーク
—Sマーク登録店なら安心です—

理容・美容・クリーニング店のSマークは、安全と衛生、確かな技術をお約束する信頼のマークです。万一の場合にも、賠償基準に基づいた保障が受けられますから、いつでもお客様に安心してご利用いただけます。

◎Safety(安全) まかせて安心。
◎Sanitation(衛生) 美しく清潔に。
◎Standard(標準) 確かな技術。標準営業約款制度の詳しい内容につきましては、福島県環境衛生営業指導センター(☎0245(21)4027)へお問い合わせください。



介護でお困りのときは
在宅介護支援センターへどうぞ

次のようなことでお困りの場合は、村在宅介護支援センターでご相談ください。

- ◆身の回りの世話を頼みたい。
- ↓ホームヘルパー派遣
- ◆日帰りで入浴や食事のサービスを受けたい。
- ↓デイサービス
- ◆お年寄りの介護についてや介護用品の使い方を教えてほしい。
- ◆家庭での入浴が困難なため入浴サービスを受けたい。
- ↓移動入浴車派遣
- ◆介護疲れ、病氣旅行、冠婚葬祭などの期間預かってほしい。
- ↓ショートステイ
- ◆家庭での介護が困難なため入所させていただきたい。

◆相談時間
月曜日～金曜日の午前九時から午後四時三十分まで

◆相談場所
玉川村大字中宇入山59
玉川村在宅支援センター
(ふれあいセンター内)
☎五七-四四一〇 金沢

訂正
9月号の行政相談会の記事中の相談員の「真野目善正さん」は「真野目喜正さん」の誤りでした。お詫びのうえ訂正させていただきます。

伝言板

第11回玉川村長杯コンペのご案内

玉川村長杯ゴルフコンペは次の日程により行われます。参加を希望される方は、村公民館へお申し込みください。

- 記
- ◇期 日 平成9年11月12日(水)
 - ◇コ ー ス 石川カントリークラブ
 - ◇スタート 午前8時35分～
 - ◇競技方法 18ホールストロークプレー
 - ◇会 費 3,000円
 - ◇申込期限 10月31日まで。なお、定員になり次第切らせていただきます。



寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

- 記
- 中の岩谷 繁さんから 3万円
 - 川辺の矢部重光さんから 2万円
 - 北須釜の草野藤樹さんから 2万円
 - 川辺の野崎久夫さんから 10万円
 - 蒜生の佐藤ハツイさんから 3万円
 - 北須釜の小針一二さんから 5万円
- (村社会福祉協議会)



村のようす
(9年10月1日現在)

戸数	1,739戸(±0)
人口	7,629人(-6)
世帯数	3,728人(-6)
単身世帯	3,901人(±0)

今月の納税

【納期限は10月27日(月)まで。遅れずに納めましょう。】

固定資産税 第2期
国民健康保険税 第4期
国民年金保険料 10月分

お誕生おめでとうございます
(9月届出分)

地区	出生児氏名	保護者名
川 辺	矢 部 雄 都	正 則
小 高	矢 吹 佑 太	和 志
竜 崎	矢 部 結 愛	司

おくやみ申し上げます
(9月届出分)

地区	死亡者氏名	年齢	世帯主名
川 辺	矢 部 治 男	76	重 光
〃	野 崎 久	70	久 夫
蒜 生	佐 藤 ハルヨ	94	一 男
中 崎	岩 谷 唯 二	92	利 平
竜 崎	森 隆 太 郎	55	太 助
北須釜	草 野 ハ ナ	77	藤 樹 二 夫
〃	小 針 佐 一	79	一 倉
吉	佐 藤 倉 夫	43	倉 夫

9月10月の健康ごよみ

- 10月
 - 24日(金) 3才児健診……………保 受
 - 午後1時～
 - 28日(火) 機能訓練……………保 受
 - 午前10時～
 - 11月
 - 11日(火) 機能訓練……………須 受
 - 午前10時～
 - 12日(水) 股関節脱臼健診……………中谷 受
 - 午後1時30分～2時
 - 14日(金) 7・8カ月児健康相談……………保 受
 - 午前10時～
 - 1歳児お誕生健診……………保 受
 - 午後1時～
 - 19日(水) 母親教室……………保 受
 - 午前9時15分～
- 保：保健センター 須：須釜公民館
中谷：中谷農村婦人の家 受：受付時間

歌愁短歌会玉川支部詠草集

つばくろの菓籠り見つと思い出す敗残の身で帰りし夫を
歌一つ書くべと思ひペン取れどペンの固くて手に慣れもせず
病みて知る身の健康の尊さを今日は曾孫と砂遊びする
嫁ぎ来て五十余年の苦勞などみんな知っている背戸の櫓は
四時半に起床の癖の今もあり朝の空気のうまさ逃さず
絶対に嘘はないという頑張りその裏既に嘘を匂わす
右足をくると畳に引っ掛けて何の因果か亦も外科医に

小針 登里
吉田 サヨ
小針 守次
真弓 はん
佐久間栄蔵
白旗 隆
登那木きみ

村公民館

趣味の達人

⑦

『写真・面打ち』……満井幸吉さん

今月は小高にお住まいの満井幸吉さん(七三歳)の写真と面打ちをご紹介します。

「写真ははじめられたのはいつ頃からですか？」

「5年くらい前です。朝日や夕日を撮ったときの写真が綺麗だったのがはじめるきっかけでした。」

「主にどんな写真を撮られていますか？」

「風景も撮ったりしましたが、出歩くのが大変なので今は近くの花や紅葉などを撮ったりすることが多いです。主に春や秋の季節に撮っています。」



「3年頃前でした。」

「私は身体が弱いので冬場に寒い所にいられないんです。家の中で過ごすことが多くあります。かといってジーンと事なものです。」

「大黒面と小女面です。顔を彫ったあとに色を塗ったり、眉や髭を描くのが難しいんですよ。表情が変わりますからね。」

「この大黒面を彫るのに型紙を70種類も使うんですよ。」

「最後に趣味の効用はなんですか？」

「一つはボケ防止。また、手先を使うし、頭を使うので健康にもいいと思います。」

「このコーナーへ登場される方を紹介して下さい。」



シリーズ「私の宝もの」⑥

矢吹キミ子さん(北須釜)

私の宝ものは、いろいろあって迷っています。数ある宝ものの中からひとつ上げるとすると学生時代に友人たちに書いて貰った一冊のサイン帳です。私は、昭和35年に平田村の蓬田中を卒業しました。私たちの学生時代は、卒業式が間近になると同級生同士で「贈ることば」をサイン帳にお互いに書き記しました。

私の学校は、1クラス45名で3クラスありました。現在と比較すると大きな所帯でしたが、みんな兄弟のように親しくしていました。このサイン帳に書いて貰った言葉を読んでいると当時のことが鮮明に思い浮かんできてセンチな気分になったりします。また、辛い時や悲しい時に友人たちのこのサイン帳の言葉が私にとって大きな励みになり、そしてまたガンバローという勇気が湧いてくる活力源にもなっています。

今ではみんな人生の円熟期に入っており、孫のいる人もいますが、このサイン帳には、少年少女時代の私たち仲間が宿っておりとても貴重な私の宝ものです。

今では空港も出来て、道路も良くなり、スーパーができて何でも手に入り、東京とおなじですね。実家の兄さんは農作物を、とりわけ昔作ったことのない作物を作るのがとても上手です。

金村さんの母親フヨさんは10月4日永眠いたしました。ご冥福をお祈りいたします。

東京玉川会コーナー

心に残る我がふるさと

『美しい玉川村』

東京都小平市 金村キミ子さん

(吉出身・鈴木喜一郎さんの妹)



3人の孫に囲まれて

玉川村の皆様お元気ですか。また東京玉川会会員の皆様、六月の総会の際にお逢いでき楽しい一日を過ごすことが出来ました。本日一日と涼さが身にしみる今日この頃です。九月の敬老の日、寝たきりの母に逢いに実家に帰り、老いた母の姿に涙が光りました。また、同じ日姉二人が同時に金婚五十年の式を迎えられたことは、とても喜ばしい限りでありました。役場で祝っていたのですが、我が玉川村であればこそと感心いたしました。私たちの子供の頃はこうした行事は何もなかった様に思います。

玉川村の道路に面した花いっぱい運動はとても美しいですね。また、帰省した際には必ず「こぶしの里センター」に寄ります。センター内で石森さんが打つおいしい『手打ちそば』は絶品です。いつでも帰りたい玉川村、人情豊かな玉川村、東京に出てき何十年にもなりますが忘れることができない我がふるさと。玉川村は人口も増えつづけており本当に喜ばしいことです。

私の住んでいる所は、東京都下の小平市という学園都市で吉祥寺と立川の間でもとても静かな町です。来年は、幼稚園生三人になる孫に囲まれ忙しい毎日です。玉川村の皆様、東京玉川会会員の皆様の健康と発展を心よりお祈り申し上げます。